

11月は『ロータリー財団月間』と『世界インターアクト週間』

国際ロータリー第2590地区ガバナー 志村 雄治



今年度始めは新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で心配しましたが、10月末までに合計48クラブの公式訪問が終了し、残り4クラブになりました。各クラブの会長・幹事を始めとする多くの皆様に暖かい歓迎を頂き、厚くお礼申し上げます。各クラブで「ウイズ・コロナ」の時代、ロータリーの再生に向けた活発な活動を考え、特に会員増強については、新しい試みを考えているクラブが多く期待しております。

さて、11月11日～12日に行う予定の今年度の地区大会は、1日目「環境」、2日目「平和」をテーマに研修したいと考えております。特に2日目の午前中には、ロータリー平和フェロー5名による「平和」についてのフォーラムを行います。また3年ぶりにRI会長代理をお迎えして、会長代理ご夫妻歓迎晩餐会や会員懇親会も含めて、ほぼ完全な形での地区大会を予定しています。各クラブで出来るだけ多くの会員・家族の皆様にご参加頂きたいと思っております。よろしくお願いたします。

本年度は、RIの呼びかけに応え10月23日(日)午後、ロータリーの公共イメージ向上も期待されるポリオデーイベントを、桜木町駅前でRI第2590地区単独にて行いました。これにより、ロータリーがどのような活動をしているか、その一端を地域の皆様にお伝えできたのではと思います。

今月は『ロータリー財団月間』及び『世界インターアクト週間』です。ロータリー財団は、

アーチ・クランフが1917年に「世界で良いことをしよう!」を標語に始めて、ロータリーが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、環境保全に取り組み、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにするための活動を行っています。また、ポリオ撲滅への活動も「あと少し」になっています。

地区としても、ロータリー財団補助金のより良い活用に力を入れていますので、会員皆様のロータリー財団へのご理解とご支援を更にお願申し上げます。今号で各委員長から寄稿がありますので、じっくりお読みください。

そして、11月5日を含む1週間は、『世界インターアクト週間』です。「青少年奉仕」は若い人々に対して、未来に向かって成長の手助けをするものです。特にインターアクトは、中学・高校生で結成されていて、様々な奉仕活動を展開しています。

当地区では18のIACがあり、コロナ禍が収まりつつあるので、海外研修はまだ出来ませんが12月に四国での国内研修を計画しています。「インターアクトの再生」に向けて、それぞれの立場で「新たな挑戦」をして頂きたいと思っております。

